

富津市国民健康保険事業運営協議会会議録

1 会議の名称	令和4年度 第2回富津市国民健康保険事業運営協議会
2 開催日時	令和4年8月4日(木) 午前10時06分～午前11時05分
3 開催場所	富津市役所 2階 第3委員会室
4 審議等事項	議題 (1) 富津市国民健康保険事業運営協議会会長及び副会長の選挙について (2) 令和3年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について
5 出席者	委員 齊藤千代子 平野順子 齋藤茂 浅野英治 熊切篤 大島拓二郎 福原敏夫 三富敏史  事務局 高橋恭市 坂本秀則 平野和行 能城和也 地引憲太郎 鹿島亜希子 内山いずみ
6 欠席者	委員 金井徳彰 竹内修 平野英男 福田好枝 荻木圭
7 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
8 非公開の理由	
9 傍聴人数	0人(定員5人)
10 所管課	健康福祉部 国民健康保険課 電話 0439(80)1271
11 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

能城係長	(会議前諸連絡) 資料確認等
高橋市長	(市長挨拶)
能城係長	(委嘱状交付)
坂本部長	(職員紹介)
坂本部長	(議事進行) 会長及び副会長が選挙されるまでの間、議事の進行を務めます。皆様のご協力をお願いします。 それでは、協議事項「富津市国民健康保険事業運営協議会会長及び副会長の選挙について」を議題とします。事務局の説明を求めます。
平野係長	(議事1) 資料のとおり説明。
坂本部長	(意見) 事務局の説明は終わりました。選挙といっても色々な方法がありますが、いかがいたしましょうか。
平野 順子 委員	指名推薦という方法で選出をお願いしたいと思います。
坂本部長	ただ今、平野委員から指名推薦という意見が出ましたが、いかがでしょうか。 指名推薦に賛成の委員は挙手をお願いします。  賛成全員のため、指名推薦の方法による選挙に決定されました。 それでは、まず、会長の選挙を行います。どなたか会長の推薦をお願いします。
平野 順子 委員	福原敏夫委員を推薦します。
坂本部長	ただ今、福原敏夫委員が推薦されましたが、他にいらっしゃいませんか。 他にいらっしゃらないようですので、福原敏夫委員を会長に指名し、当選人とすることで、ご異議ございませんか。 賛成の委員は挙手をお願いします。  異議なしと認めます。福原敏夫委員が会長に選任されました。

続きまして、副会長の選挙に移ります。どなたか副会長の推薦をお願いします。

平野 順子  
委員

平野英男委員を推薦します。

坂本部長

本日欠席ではございますが、平野英男委員が推薦されました。他にいらっしゃいませんか。

他にいらっしゃらないようです。

先ほど、平野英男委員に確認しましたところ、同意を得ております。

平野英男委員を副会長に指名し、当選人とすることで、ご異議ございませんか。

賛成の委員は挙手をお願いします。

異議なしと認めます。平野英男委員が副会長に選任されました。

以上、選挙の結果により、会長は福原敏夫委員に、副会長は平野英男委員に決まりました。

それでは、会長及び副会長が決まりましたので、これからの議事進行は福原会長にお願いしたいと存じます。

能城係長

議事に入る前に、福原会長にご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

福原会長

(会長挨拶)

福原会長

それでは、富津市国民健康保険条例施行規則第6条の規定により、次第に沿って、議事進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

報告事項「令和3年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」を議題とします。

事務局の説明を求めます。

能城係長

(議事2)

資料のとおり説明。

福原会長

ありがとうございました。

ただ今、事務局からの説明がありましたが、この件について委員の皆様方から何かご質問等ございましたらお願いをいたします。

齊藤千代  
子委員

3ページの歳出ですが、2款の出産費用と葬祭諸費のところですが、結局これは出産が少なかったということですよ。令和2年度よりも更に少ない。

そして葬祭諸費の方は、予算よりも少ないということは、これは良い

ことかもしれないけれども、令和2年度よりもちょっと増えているという事は、やはり高齢化が進んでいる富津市ですので仕方のないことかなと思います。子育てについては、富津市は色々尽力していますよね。

だけれども、なかなかこう増えないというのは何かこう打つ手というのが必要なのか。

ただ、人口がどうしても増えないからあれなんですけど、テレビなどで見ると、結構数のところに若い世帯が移動してなんてお話を聞いたりするので、富津市も何かそういうような手が打てるのかなと思います。

直接は関係ないですが、この数字から見てそのように思いました。

福原会長

回答いただく前に、富津市も決して対県内、県外含めて富津市の良いところを紹介し、中には農業を志してというのものもあるようでございますので、それら含めて事務局の方で齊藤千代子委員に対する説明をお願いしますでしょうか。

高橋市長

齊藤委員におかれましては、ご質問いただきありがとうございます。

特に私の方からは出産の数に関してでありますけれども、国保に限ったことではなくて、ここ最近子どもの出生数が減っているということは事実でありまして、大変重く私共も受け止めております。

そのために、これまでの様々な子育て施策というのも積み重ねてきておりますけれども、全国の先進地として例が挙げられる市と比べると、まだまだ弱いことも否めないということは重々承知しております。

しかし、これから先に踏み込んでいく段になったときには、もう一段階、市としてそこに注力するという、それなりの大きな覚悟がなければ踏み込めない部分もあるのも事実ではありますので、しっかりと私共で目標を定めながら議会の皆様のご理解、そして市民の皆様にも、なぜ今これをやるんだというような説明をさせていただきながら、1年でも早く子どもの出生数が上振れするような、そういうような施策を展開していきたいなという風に思っております。

そして現状としては、やはり親になる方の世代が少ないという厳しい現状がありまして、それを上向きにさせるためには、やはり子どもの希望する出生に関しての支援をすることと、あとはやはり外部からそういう世代の方に富津に移り住んでいただくというような二通りがあるという風に思っています。

それぞれの立場の部署で、全力を尽くしていきたいと、そのように考えております。

今後ともご指導のほど、よろしく願いをいたします。

福原会長

ありがとうございました。

その他に何か事務局からございますでしょうか。

地引課長

健康づくり課所管の支援といたしまして、特定不妊治療費の助成等を支援しております。

令和3年度の実績になりますけれども、申請件数が約20件で実際に出産に至った方々が9組という実績が出ております。

健康づくり課としましても、このような支援につきまして引き続き継続的な支援に努めていければ、出生率向上になるのかなというところで、支援を努めて参りたいという風に考えております。

福原会長

ありがとうございました。  
齊藤千代子委員いかがでしょうか。

齊藤千代子委員

法律があるから、富津市だけが特化して何かできるというのはないのかもしれないですが、例えば出産費用とか新生児とか、ある程度決めて富津市だけ独自の取り組みとか、金銭的なこととか、そういうものはありますか。  
勉強不足で申し訳ないですが。

福原会長

出産についてということによろしいでしょうか。

齊藤千代子委員

出産に係わって、0歳児から何歳までくらいとか。

高橋市長

出産に直接ということではないかもしれませんが、出産後育児の段階になりまして、富津市ではこれまでですね、非常に小さな積み重ねですけれども、1歳になるまでのご家庭にごみ袋を配らせていただいたり、今年度からすくすくギフトというもので、月に3,500円の品物をカタログから選んでいただくというような、親御さんに対しての支援をさせていただいているところであります。

また、国の制度の充実がありまして、私共の支援の幅は狭くなっておりますけれども、一時期は第3子のお子さんの保育料の無償化をしていたというような時期もございます。

これは今、国の制度でカバーされていますので、その方たちの保育所等での給食費の補助というような形に変えさせていただいて、第3子以降のお子さんには、特に同じ世代に兄弟がいるとかですね、同じ時期同時に園にいるとか、そういうことは私共は一切関係なく、3番目のお子さん以降はそのような形で保育の面を支援していこうというような形は、現状でも取り組ませていただいているところです。

齊藤千代子委員

実際のところ、3人というのはなかなか難しい人数だと思いますが、どうでしょうか現実的に。

現状的に、3人以上の家庭というのはどのくらいですか。つまり、それが支援される金額でもあると思うのですが。

高橋市長

今、数字に関しては調べさせていただきたいのですが、私の正直な感想として、第3子、第4子というようなお子さんがいらっしゃる家庭は結構あるんだなというのを、この制度に取り組むときに感じたのを今でも覚えています。

いらっしゃる家庭は、結構お子さんがいらっしゃるということが思っていたよりはあったというのが、この第3子の保育料の無償化に取り組んだ6年前に感じていたことなので、ごめんなさい、勉強不足なので正確な数字に関してはお答えできませんが、今調べて参りますので、その辺はこれから数字が分かり次第ご報告させていただきたいと思いま

す。

福原会長           では、数字が来るまでの間どうぞ質問はありますでしょうか。

浅野委員           3 ページの歳出の特定健康診査等事業費のことですが、先ほど市町村が42%の受診率とかというような話がありましたけれども、参考までに単純に一人当たりの特定健診の費用はいくらくらいかかっていますか。

私は毎年受けていますが、全然金額のことは気にしないで受けていますが、出し方いろいろあるかと思いますが、おおよそで結構ですので、一人当たりどのくらい費用がかかっているのか教えていただきたいです。

福原会長           特定健診費用の一人がどのくらいかかっているかということですね。

地引課長           特定健康診査の一人当たりの費用ということでございますけれども、まず、個別健診につきましては9,438円、集団健診につきましては9,153円というところで、令和3年度の実績となっております。

浅野委員           参考までに、人数がもし分かれば教えていただきたいです。

地引課長           件数でお答えさせていただきます。  
まず、個別健診につきましては1,020件、集団健診につきましては1,935件です。

福原会長           数字が分かりましたでしょうか。

坂本部長           3人の子どもがいる世帯を調べていますが、もう少し時間がかかるようなので、会議内で間に合えばお答えしますが、間に合わなければ後日ということでもよろしいでしょうか。

齊藤千代子委員   大事な時間ですから、後で結構です。

福原会長           他の委員の方どうぞ。

三富委員           2点素朴な質問をさせていただきたいと思います。  
まず、1点目は2ページの1款の国民健康保険税についてですが、高齢化の進展や医療技術の進歩によって健康保険料は上昇する傾向にあるという中で、やはり払いたくても払えないというような状況も考えられますが、市長の冒頭のご説明にもありましたように、より納付しやすい

環境ということで、コンビニ納付とかクレジット納付とか色々されている中で、市役所は「市税の納付はキャッシュレスで」ということを今キャッシュコピーで呼びかけていると思いますけれども、そうした中で普通徴収でキャッシュレスの割合はどれくらいになっているか教えていただきたい。

平野係長 収納については、本日その割合についての資料を持っていませんので、また、後日の回答とさせていただきたいと考えております。

三富委員 ありがとうございます。  
やはり、収納率向上というのが大きなポイントになってくると思いますので、ぜひその辺を教えていただければと思っております。  
もう1点ですが、3ページ目の2款の保険給付費の一番下の一般被保険者傷病手当金なんですけれども、先ほど市長の冒頭のご挨拶にもあったように、富津市では100人超えが2日続くというような中で、令和4年度はだいぶ、こういったいわゆる救済措置的な手当の支給が増えてくると思いますが、これの被保険者にどのようにこういった制度を救済措置とかを周知していくのかというところで、意外と被保険者で認識がない方がだいぶおられるんじゃないかと。先ほど令和2年度から創設されて10件ほどとお伺いしていますけれども、どんどんそういった該当する方が増えてくると考えられますけれども、その周知の方法とかもし分かったら教えていただければと思います。

能城係長 傷病手当金の周知につきましてなんですけれども、現状、市のホームページそれから全戸配布している国保日より、こちらの方に掲載をして周知を図っております。

三富委員 分かりました。  
ありがとうございます。

福原会長 その他いかがでしょうか。

坂本部長 先ほどの齊藤委員からのご質問の、第3子の数について調べて参りましたのでお答え申し上げます。  
児童手当の受給のデータから申し上げます。  
第3子ということで本市の対象者は約420名が第3子ということでご理解いただきたいと思います。

福原会長 齊藤千代子委員そういうことですので、よろしく願いをいたします。  
他にいかがでしょうか。ご意見ございますでしょうか。  
質問ご意見ございますでしょうか。

齊藤千代子委員 先ほど三富委員の方からお話しされたキャッシュレスの件なんですけれども、以前にも私発言したことがあるんですけれども、集める方はそういう風に面倒じゃない方法で口座引き落としとかそういうような方法

でやっていくのはいいかもしれないけれども、納める側の自分としては、そういう税制っていうか、そういうものに対して意識が希薄になっていくんじゃないかなって自分で思うんですが、もっと年を取って色々なことが自分でできなくなったら、そういうこともあり得るかもしれないけれども、まだもっと関心を持っていたい姿勢なので、ゼロに向かわないで欲しいなと思っております。自分で納めることを。

福原会長

私のが回答になるか分かりませんが、私も今国保ですけれども、市の中にも様々な税金がございますし、また、市民からすると公共料金等含めて、大変多岐に渡って振込するというのが現状で、流れとすれば現金を持ち歩かないというか、特に若い人についてはもうお金を持たずに全てそのカードやキャッシュレスで行うという流れがありますので、おそらく市としても出先でお支払いができるという、そういう利便性があるので、取り組んでいるのが実態かと思えます。

決して、今心配のようなことも考えないわけじゃないと思えますけれども、前を向いていかにしたら滞納率をこうならないように策を練るかっていう点から今後もおそらく取り組んでいくと思えますので、陰ながらご支援をしていただければと思います。

この件について他に何かございますでしょうか。

平野係長

納付方法につきましては、今現在の対応の生活様式に合わせて、様々なものに取り組んでいっているところですので、今までのように窓口で現金で収納するという方法も残したまま、他の部分も強化していくということで取り組んでいきたいと思えます。

福原会長

以上でございますね。  
他にございますでしょうか。

他に質問もないようですので、「令和3年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」は、報告のとおりといたします。

続いて、次第の6「その他」ですが、事務局から何かございますか。

平野係長

(諸連絡)

福原会長

事務局の説明は終了しました。  
委員の皆様から、何かございますか。

齊藤千代子委員

先ほど、市長さんからのお話で、やっと今年度は3か所海開きをすることもできたというお話で、テレビを見ても色々な地域で経済的なこととか、色々なことを考えて。

ところが、やはり先ほど市長さんが仰ったように、富津市の感染者が100名を超えた日が2日あったということで、やはり心配しているんです。

そして、お盆明けというのがやはりかなりの数の移動があるんじゃないかと思っているんです。

それで、富津市の場合、医療施設の方の関係では今のところほどのく

らいなんですかね。  
まだ、余裕はあり？

福原会長 病院の方のですか。

齊藤千代子委員 はい、病院です。

地引課長 病院の医療提供状況だということなのかなという風に認識しますが、実は健康づくり課窓口の方にも市民の方から、「病院に電話がつかない」と。また、「今日はもう予約でいっぱいです」というところの話が、感染者が増えてきた2週間くらい前から多くなっています。  
実際、お医者さん方との会議の中でも様子についてお伺いをさせていただきましたけれども、やはり、「朝一から電話が鳴りっぱなし」という状況だと伺っております。  
やはり、この辺につきましては、「入院病床ということよりも、病院の受付・窓口の対応が大変だ」と伺っております。

齊藤千代子委員 窓口が対応するのが大変だというのは、従事者が少なくなっているとか、そういうことではなくてですね。  
数が増えたって意味ですね。

地引課長 まず、医療従事者に対するワクチン接種者も広がってきてはいますが、私が把握している中では、医療従事者が濃厚接触だとか、コロナの陽性判定を受けたからということではなく、単純に病院に来られる方、電話をする方が非常に多くなっているということをお伺いしております。

齊藤千代子委員 分かりました。心配ですね。

福原会長 各々が気を付けるしかないと思いますけれども。  
ありがとうございました。

その他、ございませんでしょうか。

それでは、委員の方からも特にないようですので、「その他」を終了いたします。

以上をもちまして、令和4年度第2回富津市国民健康保険事業運営協議会を閉会といたします。

本日はどうもありがとうございました。  
ご苦労様でございました。

(閉会 11 : 05)

令和4年8月4日開催

令和4年度第2回富津市国民健康保険事業運営協議会に係る後日回答

議事

報告事項 令和3年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について

【三富敏史委員 質問】

国民健康保険税普通徴収分のうち、キャッシュレスによる納付の割合は。

【回答】

令和3年度国民健康保険税普通徴収分のうち、キャッシュレスによる納付の割合は次の通りです。

区 分	決算見込額 納付件数	左のうちキャッシュレス納付	
		納付額・件数	割合
現年度分	905,105,566 円	6,155,200 円	0.7%
	47,651 件	562 件	1.2%
滞納繰越分	136,318,707 円	213,520 円	0.2%
	7,911 件	52 件	0.7%
合 計	1,041,424,273 円	6,368,720 円	0.6%
	55,562 件	614 件	1.1%

※ キャッシュレス納付は、スマートフォン決済アプリ及びクレジットカードによる納付分

**【荊木圭委員 事前質問】**

歳入「4款 県支出金」保険者努力支援分について  
令和2年度決算額と比較して増となっているが、具体的に評価された取組はどのようなものか。

**【回答】**

保険者努力支援制度につきましては、12の指標の合計点数に応じて算出されるものでありますが、満点を獲得した指標が令和2年度での3指標に対し、令和3年度は5指標となったことが主な要因と考えております。なお、新たに満点を獲得した指標は、「糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況」と「個人インセンティブ・分かりやすい情報提供」の2指標になります。

**※満点を獲得した指標**

- ① 糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況
- ② 個人インセンティブ・分かりやすい情報提供
- ③ 重複服薬者に対する取組の実施状況
- ④ データヘルス計画策定状況
- ⑤ 医療費通知の取組の実施状況

**【荊木圭委員 事前質問】**

歳出「5款 保健事業費」について  
予算現額比 11,415,617 円の減となった、事業の内容や原因はどのようなものか。

**【回答】**

保健事業費の事業内容については、被保険者の健康維持増進のための事業、医療給付費の適正化のための事業などで、特定健康診査、特定保健指導、短期人間ドック費用助成、レセプト点検などがあります。

予算現額と比較して減となった主な要因としては、短期人間ドック費用助成金が7,284,000円の減となっております。これは、予算時点で見込んでいた助成件数よりも実際の助成件数が少なかったことが理由となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により短期人間ドックの受診控えがあったことも考えられますが、来年度の予算編成にあたっては、適正な予算編成に向けて検証したいと考えております。